記者発表資料

Press Release

国土交通省 東北地方整備局
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

i-Construction

令和６年１月２９日
東 北 地 方 整 備 局

ICTサポーターを公募します！

～ 東北地域の建設現場の生産性向上と建設DXを促進～

東北みらいDX・i-Construction連絡調整会議は有識者、東北６県、仙台市、建設業団体、東北地方整備局により構成され、i-Constructionの導入・拡大を推進する取組みを行っております。

建設現場のさらなる生産性向上と東北地域建設業におけるＤＸ促進を目的に、地元建設企業がICTやデジタル技術を幅広く導入・活用できる環境づくりを目指し、令和４年度に**ICTサポーター認定制度を創設**しました。

このたび、制度創設後２ヶ年で多数の活動実績が確認できたことから、**サポーターとして活動して頂ける企業を継続認定及び新たなサポーターの新規認定を行います。**

活動して頂ける企業様の多数のご応募をお待ちしております。

【ICTサポーター公募の概要】

１．公募期間　令和６年２月１日（木）から２月２９日（木）まで
【登録申請書等の提出期間】

２．対 象 者　ＩＣＴサポーターに必要な実務経験・資格を有する建設会社、測量会社、建設コンサルタント会社、建設機械等リース・レンタル会社、ソフトウェア会社等の法人格

３．応募方法　「申請書」をメールまたは郵送（書留に限る。公募期間まで必着のこと）
※「ＩＣＴサポータ制度実施要綱」・「申請書」は、下記よりダウンロードして下さい。
（http://www.thr.mlit.go.jp/Bumon/B00097/k00915/jyouhouka/Th-iconHP/ict-supportertop.html）

４．提 出 先　〒980-8602 仙台市青葉区本町３－３－１　仙台合同庁舎Ｂ棟
国土交通省東北地方整備局　企画部技術管理課　検査係あて
メールアドレス：thr-82ictsupporter@mlit.go.jp

＜発表記者会：東北６県県政記者会、東北電力記者会、東北建設専門紙記者会＞

＜問い合わせ先＞
国土交通省　東北地方整備局　企画部
TEL　022-225-2171（代表）
建設情報・施工高度化技術調整官
三浦（みうら）　義昭（よしあき）（内線 3132）

東北みらいDX・i-Construction連絡調整会議

ICTサポーター認定制度

東北みらいDX・i-Construction連絡調整会議※1

公募・認定

ICTサポーター

ICTサポート対象技術

ＩＣＴ施工	BIM／CIM	遠隔臨場
		



相談・依頼

技術支援
アドバイス

地元建設企業











※１　東北地域の建設現場における生産性を向上させ、魅力ある建設現場を目指す新しい取組みを推進するため、産官民で平成２９年８月に設置。i-Construction に関する情報共有、利用可能技術の導入・拡大等を推進。

ICTサポーター認定制度 概要

項　目	内　容
目　的	・東北地域における建設現場のさらなる生産性向上と建設業におけるDX促進 ・地元建設企業がICTやデジタル技術を幅広く導入・活用できる環境の整備
活動内容	ICTサポーターは、東北地方におけるさらなる建設生産性の向上を図るため、地元企業等の求めに応じて必要な時に実践的な技術支援（技術指導・技術相談・助言・技術提供等）を行うとともに、ICT施工の普及促進や、BIM/CIMをはじめとする3次元データの利活用促進を目指した活動等を行う。 ●ICTやIoT、AI等の情報通信技術・デジタル技術（以下、「ICT技術」）を建設生産・管理プロセス（調査測量、設計、施工、施工管理、点検、維持管理、防災活動等）の全てまたは各段階で活用する際の発注者や受注者等の依頼者ニーズに応じた技術支援 ●ICT技術を活用する際に必要な手順の解説や効果的な活用方法の提案、留意事項に関する助言 ●他地域でICT技術を活用して課題解決した事例の紹介 ●建設分野におけるICT技術に関わる最新動向の紹介 ●東北地方整備局及び地方公共団体等が実施する研修・講習会等に対する協力　など
サポート対象技術	別紙
サポーターの認定	・ICTサポーターの認定は、東北みらいDX・i-Construction連絡調整会議が公募により行う。 ・連絡調整会議は、ICTサポーターにふさわしいと思われるICTの先駆者を、２年に１回公募する。 ・応募は、申請書で行う。 ・ICTサポーターの選定は、連絡調整会議が申請書並びに、必要により申請者に対するヒアリングを実施し、選定する。
応募資格	以下の要件を満たす建設会社、測量会社、建設コンサルタント会社、建設機械等リース・レンタル会社、ソフトウェア会社等の法人格で、過去３年間に以下に示すいずれかの実績を有すること。 ①応募するICT技術に関する東北地方整備局または東北6県・仙台市が発注する工事または業務の実績（元請または下請） ②応募するICT技術に関する技術指導や助言、普及・支援活動などの実績 ③応募するICT技術に関する講習会・研修・セミナー等における講師または技術指導実績 ④東北地方整備局「簡易チャレンジ型ICT活用工事」登録アドバイザー ⑤東北地方整備局「アドバイザー・コンサルタント制度」登録アドバイザー ⑥応募するＩＣＴ技術に関わるリース・レンタル会社・システム会社・ソフトウェア会社等で令和4・5・6年度の国土交通省競争参加資格（全省庁統一資格）における「物品の製造」、「物品の販売」または「役務の提供等」について東北地域の競争参加資格を認定された者又は随時認定される者
継続認定	令和4・5年度のICTサポーターに認定されており、継続して認定を希望するサポーターは、以下に示す手続きにより再認定する。 ①令和4・5年度の任命期間にICTサポーターの活動実績があったサポーターは、申請書の提出を不要とし、辞退の申出（任意様式）がない限り、再任する。 ②令和4・5年度の任命期間にICTサポーターの活動実績がないサポーターは、あらためて申請を行い、応募資格要件に基づき認定する。
任命者・事務局等	任命者：東北みらいDX・i-Construction連絡調整会議　会長（東北地方整備局企画部長） 事務局：東北地方整備局 企画部 技術管理課・施工企画課
認定者の公表	連絡調整会議事務局（国土交通省東北地方整備局）のホームページ上で公表
任　期	２年 ※認定期間は認定日から翌々年の3月31日までとする。 ※なお、辞退の申出、認定を受けたサポーター申請時の提出書類に虚偽の記載があったことが判明した時、その他サポーターとして適さない事情等がある場合は、任命期間にかかわらず、当該サポーターを解任または活動を停止することができるものとする。
支援の依頼方法・費用負担	・ICTサポーターへの支援依頼は、技術支援を希望する依頼者が連絡調整会議事務局（国土交通省東北地方整備局）のホームページ上で公開されている「ICTサポーター登録一覧」から選定し、依頼者が当該サポーターに直接、支援依頼を行う。 ・依頼に基づくICTサポーターの活動に要する費用は、ICTサポーターと支援依頼者で協議し決定する。 ・電話やオンライン等による短時間の支援については無償を原則とする。
サポーター活動報告	ICTサポーターは、支援依頼があった場合には、依頼者や支援内容等を記載した活動報告書を技術支援終了後、速やかに連絡調整会議事務局宛て提出する。

別紙

ICTサポート対象技術

区分	技術No.	ICT技術の名称
調査・測量・施工管理	1	ICT施工（土工・護岸工・法面工・構造物工）におけるドローン（UAV）による空中写真測量を活用した3次元計測技術
	2	ICT施工（土工・舗装工・護岸工・法面工・構造物工）における地上型レーザースキャナーを活用した3次元計測技術
	3	ICT施工（土工・舗装工・護岸工・法面工・構造物工）における地上移動体搭載型レーザースキャナーを活用した3次元計測技術
	4	ICT舗装工における建設機械搭載型レーザースキャナーを活用した3次元計測技術
	5	ICT施工（土工・護岸工・構造物工）におけるドローン（UAV）搭載型レーザースキャナーを活用した3次元計測技術
	6	ICT施工（土工・舗装工・法面工・トンネル工）におけるTS（ノンプリズム方式）を活用した3次元計測技術
	7	ICT施工（土工・舗装工・護岸工・法面工）におけるTS等光波方式を活用した3次元計測技術
	8	ICT施工（土工・法面工）におけるRTK-GNSSを活用した3次元計測技術
	9	ICT施工（河川浚渫工）における音響測深機器を活用した3次元計測技術
	10	ICT施工（土工・路面切削工・河川浚渫工・地盤改良工）における施工履歴データを活用した3次元計測技術
	11	ICT土工（小規模施工）におけるモバイル端末を活用した出来形管理
	12	ICT施工におけるTS・GNSSを用いた盛土の締固め管理技術
	13	ICT路盤工における加速度応答による締固め管理技術
	14	ステレオ写真測量（地上移動体）を用いた出来高管理
	15	地上写真測量（動画撮影型）を用いた出来高管理
	16	Web会議システムやASP、ウェアラブルカメラ等を活用した遠隔臨場
	17	画像処理技術を活用した配筋検査技術
設計	18	BIM/CIM（3次元モデリング）
	19	関係者間協議等へのxR（VR/AR/MR）技術の活用
	20	ICT建機施工用の3次元設計データ作成
	21	BIM/CIMソフトウェアの活用方法
施工	22	ICT建設機械（マシンガイダンス・マシンコントロール技術）
	23	ICT土工（小規模施工）におけるGNSSや自動追尾型TSを活用した小型MGバックホウ
	24	遠隔操作式建設機械による無人化施工
	25	パワーアシストスーツを活用した建設施工
維持管理	26	ドローン（UAV）を活用した施設や構造物の点検
	27	センサーやIoT技術を活用した施設や構造物の点検
	28	ロボットを活用した施設や構造物の点検
	29	画像処理技術を活用した施設や構造物の点検
防災	30	センサーやIoT技術を活用した被災箇所・程度の把握
	31	ドローン（UAV）を活用した被災箇所・程度の把握
	32	レーザースキャナーを活用した被災箇所・程度の把握
その他	33	ICT施工に関する総合的な施工計画
	34	ICT施工の研修・講習会の講師
	35	BIM/CIM活用の研修・講習会の講師

ICTサポーター認定制度 今後の予定

令和6年2月1日

- **ICTサポーター認定の申請受付開始**

令和6年2月29日

- **ICTサポーター認定の申請受付終了**

（必要により
ヒアリングを実施）

審査期間

令和6年3月28日頃

- **結果の通知（認定･非認定）**
- **ICTサポーター名簿の公表**

令和6年4月1日

- **ICTサポーター認定制度の継続運用開始**